

令和2年度 富島高等学校（定時制） 学校評価

教育目標 宮崎県教育基本方針および宮崎県人権教育方針に基づき、己の個性を伸ばす自立の心を育て、信頼と協調により友愛を深め、心豊かな生活をめざして創造力を伸ばし、知・徳・体の調和のとれた人材を育成する。					〔学校関係者評価のポイント〕 ・自己評価の項目や指標は適切に設定されているか。 ・自己評価の結果は、指標等をもとにした妥当なものであるか。 ・自己評価の結果を踏まえた成果と改善策は適切であるか。	
本年度の重点目標 「生きる力」を育むことを基本として （１） 「頭」を鍛え、伸ばす（学力の向上と進路の実現） （２） 「心」を鍛え、育てる（心の教育の推進と充実） （３） 「体」を鍛え、伸ばす（体の育成と部活動の活性化）						
重点目標	評価項目	具体的方策又は具体的指標	自己評価	成果及び改善策	学校関係者評価	評価・具体的意見
（１） 「頭」を鍛え、伸ばす	① 授業力の向上	・個の特性や能力に応じた指導を工夫する。 ・意欲や態度を含めた多面的な評価を推進する。 ・後期前半に授業公開週間を計画する。	B	コロナ禍の中であまり目立ったことはできなかったが、10月に授業公開週間を実施することができ、「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業力向上を目指した。	B	・目指した結果はどうだったのでしょうか。 ・授業力向上の向けての努力は見られると思います。
	② ビジネス教育の推進	・定期的に一般職及びパート求人を提供し、就業体験を促す。 ・実務代替を推進し、就業先との提携を図ることで、生徒の勤務状況を把握し、必要なアドバイスを行う。	B	コロナの影響もあり、就業先との連携が、1年生も数名アルバイトを始めた。	B	・中学校で不登校だった生徒がアルバイトをできるようになるのは素晴らしい。 ・家庭の事情等でアルバイトをせざるを得なかったというのでしょうか。（→本校定時制は、精神的・経済的自立の観点から積極的にアルバイトに取り組むよう勧めています。）
	③ 資格取得の推進	・キャリアパスポートを用いて、生徒自身が自分の資格取得状況を意識できるようにする。	C	生徒がもう少し、資格取得状況を意識できるように、キャリアパスポートのファイルの活用改善が必要だと感じる。	C	・今年度からの取り組みであれば、課題を見つけただけで、成果あります。 ・キャリアパスポートのファイルを、生徒自らが進んで活用できるよう改善が必要である。
	④ キャリア教育の推進	・進路ガイダンス、進路講演会等を通して、「働くことの意義と正規雇用と非正規雇用の違い」を理解させる。また、就職支援のための講演会を実施し、さらなるキャリア教育の推進を図る。	B	進路ガイダンスを実施することができた。また、今年度は身だしなみについての講座も行うことができた。	B	・全学年で行っているのでしょうか。（→全学年で実施しています。） ・日向市キャリア教育支援センターがDVDを作成しているので、是非活用して、働くことの喜びや苦勞、魅力を感じ、進路に繋げてほしい。
	⑤ 学力の向上	・基礎学力養成プリント（国・数・英・新聞記事）を実施する。 ・出席の管理を適切に行う。	B	SHR時に基礎力要請プリント（国・数・英・新聞記事）を毎日実施した。コロナ禍の中であっても実施できたので学力水準を保持することができた。	B	・継続することは大事です。新聞記事いいですね!! ・新聞を読む力をつけてほしい。学校によっては、NIE活動を実施しているところがある。視野を広げ、社会への関心を高めてほしい。
（２） 「心」を鍛え、育てる	① 基本的生活習慣の確立	・スリッパ登校の防止・登下校の服装のルールを遵守させる。 ・挨拶の徹底及び遅刻・中抜けの防止。 ・時間厳守の励行。	B	遅刻する生徒が数名いるものの、基本的な生活習慣の確立ができており、全体的に落ち着いた学校環境の維持ができています。	A	・ルール遵守の大切さを学べると基本的な生活習慣に繋がることができます。 ・遅刻する理由を知りたいです。
	② 命を大切にす る教育の推進	・平時指導で、自他の生命を尊重する態度を育成する。 ・学校行事を通して自他の生命を尊重する態度を育成する。	B	性教育講話や人権講話を通して得た自他の生命を大切にする知識を日常生活に生かすための教師の指導ができています。	A	・生徒たちが生命を大切にす る態度を得ることができ ているか。 ・よく指導できています

	③ 危機回避能力の育成	・平常指導による危機回避の育成を図る(特に登下校時)。 ・避難訓練(年2回)、交通安全教室の実施。 ・危険箇所の点検。 ・救急法講習会、薬物乱用防止教室の実施。	B	避難訓練や交通安全教室、救急法講習の機会を通じて緊急時に適切な対応を行う能力を高めることができている。今後も機会を捉えた継続的な指導を行っていく。	A	・夜間の下校時、特に気になるので、危機回避能力の育成は大事だと思います。 ・発電機も購入して、防災への備えがよくできている。
	④ スクールリーダーの育成	・生徒会活動で、主体性やリーダーシップを育成し、学校生活の充実をはかる。 ・各種委員会で、生徒が主体となった活動を推進する。 ・部活動において、生徒による自主的な運営を行う。	B	生徒会行事を執行部中心で運営させることで集団を動かす力を育てることができた。生徒に役割を与えて行事や部活動運営を行わせる機会を通して、責任感が強くなった。	B	・コロナ禍のなか、成果が出ているのであればよいと思います。 ・主体性やリーダーシップは個人差はあると思うが、育成できていると思う。
	⑤ 豊かな心の育成	・読書活動を推進する。 ・体験活動の取組みを推進する(花壇作り、陶芸教室、体験発表等)。	B	陶芸教室や花壇整備等の活動を通して、豊かな心の育成をすることができた。	B	・清掃活動は社会に出ると、とても大事です。 ・陶芸教室の作品や、花壇が見られるとよかったです。
	⑥ 特別支援教育体制の充実	・ハートサポーターによる個別面談の実施。 ・関係機関との連携、個別指導のサポート。 ・個別面談等の実施。 ・職員研修会の実施。	B	1年を中心に、ハートサポーターによる個別面談を実施している。ケース会や専門機関への相談や連携を行っている。校内のサポート委員会などで職員間の共通理解をすすめている。	B	・職員全員で情報を共有することは大事だと思います。 ・方策に従い、よく実施できていると思います。
(3) 「体」を鍛え、伸ばす	① 健康教育・安全管理の充実	・生徒全員の健康診断を実施し、健康診断結果の事後指導を行う。 ・教育相談・保健相談活動の充実を図る。	B	診断結果に対して素早く対処させ、日々の健康づくりにつながる指導を行った。	B	・素早く対処し、指導を行い、よくできていると思います。 ・指導を行っても、生徒自身が自己管理をおこなっていくことの難しさはあると思います。
	② 個性の伸長	・部活動や特別活動を通して、生徒一人一人の個性の伸長に努める。 ・ホームルーム活動や特別活動時に生徒の得意とする分野を生かした役割分担を行う。・部活動において、生徒による自主的な運営を行わせ、リーダー力を伸長させる。	B	活動の中心となる生徒のリーダーシップにより、個々の生徒の特徴を生かしながら、生徒全体の積極的な取り組みにつながる活動ができている。	B	・働きながら学ぶ生徒は積極的で強い意志を持っていますね。 ・全員がリーダーシップを身につけるとどのような場面でも、生徒自身でいろんなことを行うことができるようになるでしょう。
	③生涯にわたる健康の保持増進のための教育	・総合学習や保健体育の授業、部活動・特別活動、健康教室を通して生涯にわたる心身の健康保持について意識を高めるとともに、生徒の体力向上に努める。	B	学校活動のあらゆる場面において生徒が互いにコミュニケーションを取ることで、豊かな人間関係を築くことができている。	A	- 不登校であった生徒が学校に来ることができるということだけでコミュニケーションがとれていると思います。 ・協力し合える、よい関係であることが一番大事だと思います。

※ A：十分達成 B：概ね達成 C：検討の余地あり D：不十分